

# 総社る

S O C I A L

2023. 3  
Vol.11 No.02

近畿大学総合社会学部紀要  
Kindai Applied Sociology Review

# 近畿大学総合社会学部紀要

第11巻 第2号 2023

---

## 目 次

### ■原著論文

大型犬を用いた短時間の動物介在活動により得られる心理的効果の実験的検討 —心理尺度と潜在連合テスト (IAT) を用いて— ..... 漆原宏次・古野良祐・皆川春咲・播磨谷莉穂	1
YouTuber, ゲーム実況者, VTuber などの複合的で複雑な現代文化を研究する 際に有用な研究手法の提案 —コロナ禍におけるVTuber「ゾンビ先生」による情報空間のフィールドワーク— ..... 岡本 健	15
感染症対策に当たった政権担当者らに対する評価が衆議院議員選挙の投票行動に 与えた影響 ..... 辻 竜平	31
近畿大学総合社会学部紀要投稿規程 .....	39

# Kindai Applied Sociology Review

Volume 11, No. 2 2023

## CONTENTS

### ■ Articles

An Experimental Investigation of Psychological Effect Obtained by a Brief Animal-assisted Activity with a Large Dog : An Investigation using Psychological Scales and Implicit Association Test (IAT) . .....	Kouji URUSHIHARA, Ryosuke FURUNO, Haruki MINAGAWA, Riho HARIMAYA	1
Fieldwork by VTuber“Zombie Sensei” During The COVID-19 Emergency: Research Method for Complex Modern Japanese Cultures in Information Society .....	Takeshi OKAMOTO	15
Effects of the Evaluation of the Cabinet Ministers and the Specialists who Engaged in the Control of Infectious Diseases on the Voting Behavior in the House of Representatives Election .....	Ryuhei TSUJI	31
Manuscript submission guidelines of <i>Kindai Applied Sociology Review</i> .....		39

# 近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

## 紀要の名称

総合社会学部紀要

英文：Kindai Applied Sociology Review

## 紀要の形態

B5 縦長，左開き横書き，右開き縦書きで，いずれも本文は2段組とする。

この規程は，総合社会学部紀要への投稿に関する取扱事項を定めたものである。

1. 投稿者は，近畿大学総合社会学部専任教員，兼担教員，兼任教員とする。兼任教員は，専任教員を通じて原稿を提出する。
2. 原稿は，総合社会学部の扱う学問領域に鑑みて適正な範囲に収まっていることとし，その内容については，著者が責任を負う。
3. 原稿区分は，原著論文，総説，書評，研究ノート，評論とし，その内容は，下記のとおりとする。

### 原著論文 (Article)

オリジナリティ（学術的新規性）のある論文で原著論文としての体裁を整えているもの。

### 総説 (Review)

最近の学術的知見や成果等を骨子として総合的に論述し，オリジナリティのある結論を導き出しているもの。

### 書評 (Book Review)

国内外の著書等の内容に関する紹介記事で学術的に価値があるもの。

### 研究ノート (Research Note)

調査報告や実験結果など，論文としては完成されていないが，今後，論文や著書に発展する可能性があるもの。

### 評論 (Opinion)

学術的な内容を含むが，論文という形式を取らず，随筆，研究史，問題提起など，より自由な形式を持つもの。

4. 紀要委員会（以下「委員会」という）は，投稿原稿の掲載の適否を判断するため，審査を行う。また，委員会は，投稿者に対し原稿内容と原稿区分についての補筆や修正を求めることができる。
5. 紀要委員長は，1，2名の審査委員を委嘱し，投稿原稿の査読を依頼する。査読委員の意見が分かれる場合は，紀要委員長が扱いを決定する。
6. 原稿は原則として未公刊のものに限る。
7. 原稿の長さは原則として，刷り上がり20ページ以内とする。目安としては，日本語論文では30,000字以内，英語論文では10,000語以内とする。
8. 発行は年度中2回（9月と3月）とし，原稿の提出希望締切日と原稿の提出締切日は別途定め，これを厳守する。

9. 原稿の提出は、募集期間中（原稿の締め切り 1 ヶ月前から締め切り日まで）に、原稿に紀要原稿添付票を付して各専攻の紀要委員宛てに行う。
10. 原稿の受理日は審査委員からの受理日を原稿受理日とする。
11. 執筆者の校正は 2 回までとする。内容及び図表などの大幅な変更、追加は原則として認めない。
12. 投稿された論文の著作権は近畿大学に帰属し、掲載された論文については冊子体として、また PDF などの媒体でレポジトリなどに公開されることを投稿者および共著者は承諾する。
13. 別刷りは、論文ごとに 30 部を無料配布とする。

## 付則

1. この規程は、平成 22 年 7 月 26 日より施行する。
2. この規程の改正は、平成 27 年 9 月 14 日より施行する。
3. この規程の改正は、令和元年 7 月 17 日より施行する。

## 記述上の注意

1. 原稿は縦書き、横書きのいずれでもよい。
2. 原稿は、文字の大きさを 10 ポイントとし、ワードファイルで各専攻紀要委員に提出する。
3. 図、表、写真、脚注などは本文データに挿入するか、別データで添付して、挿入位置などの説明を明記する。
4. 原稿中に通常の欧文以外の言語・文字（ハングルなど）を使用する場合はあらかじめ紀要委員に連絡し、印刷に支障のない措置を取る。
5. 図、表、写真を引用する場合、著者自身の責任で著作権の許諾を得ておく。
6. 投稿時には、原稿に紀要原稿添付票を付して提出する。
7. 原稿記述の詳細、引用文献、脚注などについては、それぞれの専攻によって別途定める。

## 執筆者紹介（目次順）

漆原 宏次	近畿大学総合社会学部	教授（学習心理学）
古野 良祐	JAL グランドサービス札幌	（2016年度北海道医療大学漆原ゼミ卒業生）
皆川 春咲	北見児童相談所	（2017年度北海道医療大学漆原ゼミ卒業生）
播磨谷莉穂	社会福祉法人常德会 興正学園	（2017年度北海道医療大学漆原ゼミ卒業生）
岡本 健	近畿大学総合社会学部	准教授（観光学，メディア・コンテンツ研究）
辻 竜平	近畿大学総合社会学部	教授（数理・計量社会学，社会ネットワーク分析）

## 紀要委員

小泉 隆平， 岡本 健， 遠藤 信貴， 保本 正芳， デラ リチャード

---

近畿大学総合社会学部紀要 第11巻第2号 2023年

2023年3月31日 印刷

2023年3月31日 発行

編集・発行 近畿大学総合社会学部

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

(06) 4307-3062

---

Kindai Applied Sociology Review





総  
心  
社  
る

近畿大学総合社会学部紀要  
Kindai Applied Sociology Review

S O C I A L

2023.3  
Vol.11 No.02